

古殿町の大豆生産支援について

~ Soyや!大豆ミートで一世風靡~

県中農林事務所須賀川農業普及所

1 背景・ねらい

背景

- 古殿町は、町内で増加する遊休農地対策として、大豆を振興作物として選定。
→近年の健康志向で需要が高まっており、等級に関係なく加工販売が可能な、大豆ミートに着目した。
→平成29年に「古殿町大豆振興会」(以下、「振興会」という)を設立し、本格的な大豆生産支援を開始した。
- 追肥をする意識が町内大豆生産者の中になく、安定した収量に結びついていない。
- 中山間地であるため、排水性の悪いほ場が多く、湿害による出芽不良が発生している。

ねらい

- 追肥作業の定着!
- 湿害対策の実施により出芽を確保!



収量アップ!

★振興会の持続的な大豆生産のため、栽培技術の基盤を作る。



古殿町HPより

2 活動内容

J A、町役場、振興会と

Plan

現状の問題点について話し合い、活動内容を共有

①追肥指導

- 適期や作業内容を記載した**チラシやカルテを作成し、個別指導**を実施。
- 実績検討会で生産者ごとの収量を共有し、栽培の振り返りを実施。
→次年度の追肥作業について見直しを可能に。



個別巡回指導の様子

②湿害対策技術の実証と周知

- 機械メーカーによる**耕耘同時畦立て播種機**の実演。
- 実証ほの設置と生育調査の実施(R3)。
- 効果について関係機関と現地ほ場を確認。
- 実証結果、技術について生産者、関係機関に図を用いて周知。

③支援体制づくり役割分担

- 栽培開始前に支援体制と役割の見直し確認。
J A : 栽培・資材支援
町 : 事業活用推進
普及 : 栽培技術支援
- 毎月の**三者会議**でこまめな情報共有を実施。
- J A、町役場とほ場巡回を**3回/年**実施。

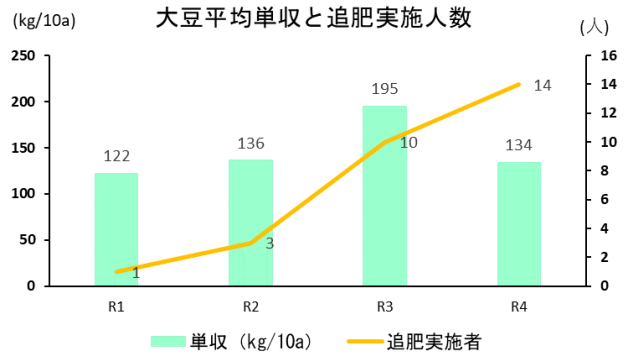
栽培終了後には**実績検討会**を実施し、振興会内で課題と次年度の対策を共有した

Action

3 活動の成果

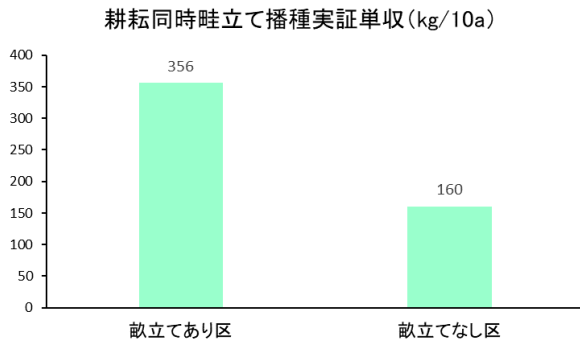
①ほ場巡回による追肥指導

- ・追肥の実施により、**収穫量が増加**。
(R2 : 136kg/10a → R3 : 195kg/10a)
- ・収量が向上した経験から生産者が継続して追肥を実施。(R2 : 3名 → R5 : 14名)
→ **追肥作業が定着!**



②湿害対策技術の実証と周知

- ・畝立ての実施で、畝立てなしのほ場と比較して収量が**2倍**になった。
(実証ほ : 356kg/10a 対照ほ : 160kg/10a)
- ・古殿町でも耕耘同時畦立て播種が湿害対策に有効であることが明らかになり、会員に技術の周知ができた。
- ・令和5年に、**2戸が畝立て播種を実施**。
- ・令和6年に向け、**法人1戸が機械の整備を検討中**。



耕耘同時畦立て播種の様子

③関係機関とのほ場巡回や情報共有

- ・令和2年から、**毎年新規栽培者を確保**できた。(計6名)
- ・JA、町役場と生産者ほ場を巡回することにより、現場の現状や取組内容を共有し、病害虫の対策や追肥を速やかに実施することができた。

4 今後の活動・方向性

①栽培指導会等の充実

- ・栽培期間中の指導会の実施。
- ・調査ほ場を設け、ほ場での生育目揃え会の実施。
- ・大豆生産を検討している振興会以外の農業者も参加可能な指導会の開催。

②播種作業の受委託制度の確立

- ・法人や播種機所有の生産者に播種作業を集約する。
- ・耕耘同時畦立て播種導入予定の法人を重点支援し、優良事例とし技術の横展開を図る。

★収量
★栽培面積
★生産者

アッフ!

大豆ミート生産量アップ!

町内での利用を増やし、

皆様の舌を風靡!